

有限会社かみたいら

宮城県気仙沼市/食料品製造業
https://www.kamitaira.co.jp/

令和4年度事業

補助対象経費	297万円
補助金	145万円

事業概要

有限会社かみたいらは、三陸産の帆立、牡蠣、ほや、昆布等の加工販売や、新鮮な帆立等の海産物を販売しています。『安心・安全・新鮮』を基本理念に、地場産業の発展のため安心安全な食材を提供しています。

「令和3年度 地域プラットフォーム構築事業」にて省エネルギー診断を実施しました。設備ごとの電力使用量を把握し、商品を保管する冷凍冷蔵設備を高効率設備に更新した結果、省エネルギー化を実現しました。



事業者メッセージ

省エネ事業に踏み切った経緯は、主にコスト削減と環境への配慮が背景にあります。エネルギー価格の上昇や、持続可能な社会の実現が求められる中、企業としての責任を果たすために省エネ対策に踏み切りました。

設備更新の効果としては、エネルギー消費の削減によるコストの低減、運用効率の向上、そして温室効果ガスの排出削減が挙げられます。また、新しい設備は省エネ性能が高く、メンテナンスも容易で、長期的な視点でのコスト削減が期待できます。今後の展望としては、さらなる技術革新の導入や、再生可能エネルギーの活用を進めることで、さらなる省エネ効果を追求していく方針です。

省エネ効果

エネルギー使用量

32.1(kl/年)

省エネルギー量

19.4 (kl/年)

削減コスト

173(万円/年)

補助対象設備の
省エネルギー率

60.4 %

CO₂削減効果

38.1(t-CO₂/年)

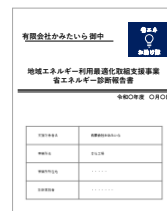
※ 削減コストは、電力利用額：1 kWh当たり2.0円を乗じた値

省エネのPOINT

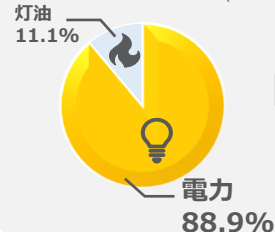
省エネお助け隊※の活用

2021年に省エネお助け隊の省エネ診断を受診。事業所のエネルギー使用状況を調べた結果、電力使用量が一番多いことが判明。中でも夏季に外気温上昇による冷凍冷蔵庫の負荷増加により、電力の使用量が増えることなどから、省エネ取組として冷凍冷蔵設備の更新を検討。設備の更新について補助金の活用方法と併せて改善提案を受け、2022年に本補助金の申請を実施した。

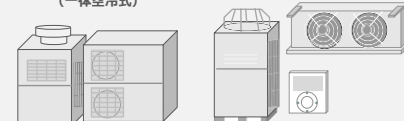
※省エネお助け隊：経済産業省資源エネルギー庁の「地域エネルギー利用最適化取組支援事業」で採択された地域密着型の省エネ支援団体。中小企業等の省エネ取組に対し、第三者の専門家が現状把握から改善までこまやかなサポートを実施。



事業所エネルギー使用割合 (2020年度)



■ コンデンシングユニット (一体空冷式) ■ 冷凍冷蔵ユニット



電力の中でも使用割合が高い
冷凍冷蔵設備を更新

<年間消費電力量比較>

更新前	143,931.2 kWh/年
更新後	57,044.9 kWh/年

導入設備



冷凍冷蔵設備

種別	成績係数 (COP)	呼称出力	台数
コンデンシングユニット	0.98	7.50kW	1台
	1.11	3.00kW	1台
冷凍冷蔵ユニット	1.10	4.00kW	1台

